

関西学院大学博物館 × 大阪大学総合学術博物館
連携公開シンポジウム

戦後の 関西「新劇」を 考える ——市民生活と演劇——

登壇者

高岡 裕之（関西学院大学文学部・文学研究科 教授）

小山 帥人（ジャーナリスト）

河東 けい（女優、関西芸術座）

菊川 徳之助（演出家、元近畿大学舞台芸術専攻 教授、劇団アノニム）

司会 永田 靖（大阪大学総合学術博物館・大阪大学大学院文学研究科 教授）

2017.12.2 土

13:30～（13:00開場）

大阪大学 豊中キャンパス
基礎工学部国際棟Σ（シグマ）ホール

入場無料

定員:200名
※事前申し込み必要

平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
「交流する大学ミュージアムを目指して～大学の扉を開く～」

関西学院大学博物館 × 大阪大学総合学術博物館 連携公開シンポジウム

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：関西学院大学博物館

かんさい大学ミュージアム連携実行委員会

協力：大阪大学21世紀懐徳堂



戦後の関西「新劇」を考える

—市民生活と演劇—

新劇は西欧近代劇の芸術的成果を日本に紹介、また実践した演劇活動および演劇ジャンルの名称です。

日本の現代演劇の中心として舞台芸術のみならず映画やその他の文化芸術にも大きな影響を与えてきました。

一般的には新劇の劇団というと文学座などの東京の大劇団が思い浮かびますが、関西にもさまざまな劇団があり活動を行っていました。特に終戦後の1940年代後半には制作座や青猫座、くるみ座といった小規模ながら個性的な劇団が数多く旗揚げされ、多様な演劇の実践が行われるようになりました。

東京とは異なる土壌で独自に育まれた関西の新劇を各方面の専門家を交え、特に関西の市民生活との関連を中心に捉え直すシンポジウムを開催します。

■ 登壇者

高岡 裕之（関西学院大学文学部・文学研究科 教授）

小山 帥人（ジャーナリスト）

河東 けい（女優、関西芸術座）

菊川 徳之助（演出家、元近畿大学舞台芸術専攻 教授、劇団アノニム）

■ 司会 永田 靖（大阪大学総合学術博物館・大阪大学大学院文学研究科 教授）

申し込み方法

WEBフォームまたは往復ハガキでお申し込みください。

▶ WEBからのお申し込み

http://www.museum.osaka-u.ac.jp/2017shingeki_symposium

▶ 往復ハガキでのお申し込み

往信文面に郵便番号・住所・氏名・電話番号・学年（年齢）を、返信宛名面に住所・氏名を明記の上、下記宛にご送付願います。

〒560-0043 豊中市待兼山町1-13

大阪大学総合学術博物館 シンポジウム申込係

※複数名でお申し込みの場合、同伴者全員の情報をご記入下さい。

※11月24日（金）申込締切（必着）

※定員に達し次第申し込みを締め切ります。

アクセス

大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学部国際棟Σ（シグマ）ホール

阪急宝塚線「石橋」駅 徒歩20分、大阪モノレール「柴原」駅 徒歩10分

※展覧会会場とは会場が異なります。



関連展覧会

大阪大学総合学術博物館第10回特別展
演じる私たち～戦後20年関西「新劇」の軌跡

会期：2017年10月23日（月）～12月22日（金）

会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：関西学院大学博物館

大阪芸術大学舞台芸術学科舞台美術コース研究室

大阪大学大学院文学研究科

日本舞台美術家協会 西日本支部

かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

協力：大阪大学21世紀懐徳堂